



食育だより

令和8年2月

藤枝市教育委員会学校給食課



藤枝市では、各小中学校で年間計画に沿い、児童生徒の実態に合わせた様々な食に関する指導を行っています。市内の各学校で行った食に関する指導の一部を紹介します。



高洲南小学校

栄養素の種類とはたらきについて知り、給食の食材を五大栄養素に分類する活動を通して、食品を組み合わせてバランスよく食べることの大切さを学びました。

厚揚げは、大豆からできているからたんぱく質かな。



- それぞれの食べ物に体を健康にする役割があることがわかった。
- いつもたんぱく質の多い食品をたくさん食べていたけれど、ビタミンや炭水化物の多い食品も食べて、バランス良く元気にすごしていきたい。
- 給食でたくさんの材料を使って作っているのは、いろんな栄養をとるためだということがわかった。
- 食べ物が体の中でどんなはたらきをしているのか知ることができ良かった。



高洲中学校

2年 学級活動「食品ロスについて考えよう」

ごみ処理の問題、地球温暖化、飢餓の3つの視点で食品ロスの問題について学び、食品ロスを減らすために、今後自分たちができることを考えました。



- 賞味期限と消費期限の違いがわかった。
- 食べ物を買う時に、手前の期限が近い物から取るようにしたい。



☆感想☆



- 日本は外国からたくさんの食べ物を輸入させてもらっているのに、たくさん廃棄していると聞き、食べ物が無駄にならないように工夫したいと思った。
- 食べ残した食べ物は水分が含まれているから、普通のゴミよりも処理するのに燃料やお金がかかることがわかった。
- 私たちは、動物の命や、たくさん的人が準備してくれるおかげで毎日食べ物を食べることができるので、残さず食べて感謝の気持ちを表したい。



朝比奈第一小学校

「食べること」は、自分の周りのたくさんの人との関わりによって成り立っています。

給食に関わる農家の思いを想像し、給食の食材を給食センターに届けるロールプレイングを行いました。

給食に込められたたくさんの人の思いに気付くことで、食べることに関する感謝の思いを持つことにつなげていきたいと考えました。

ハート型の付箋に農家の思いを想像して書きました。給食には、たくさんの思いが込められています。



農家さんになり、野菜に込めた思いをハ百屋さんに伝え、食材を給食センターに届けてもらいました。



里芋の根を取る体験をしました。大事に育てた里芋をきれいにして出荷する苦労がわかりました。

子どもたちの感想

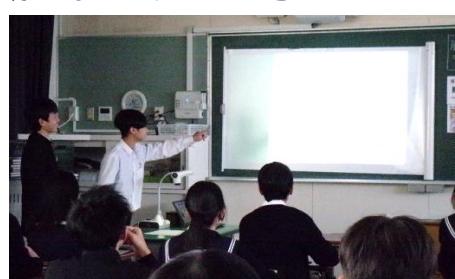
- ・キャベツを作るときは、温度調節が大変だとわかりました。これからは、大事に食べます。
- ・里芋の根っことりが大変でした。これから里芋がでたときは、大変な気持ちを考えて食べます。

藤枝中学校

2年 藤枝を元気に！～藤芋プロジェクトを広めよう～

藤枝市で作られている食材や農業の現状などを知り、さらに地域を活性化するために藤枝市役所で取り組んでいる「藤芋プロジェクト」を多くの人に広めるプランを考えました。

藤色のさつまいもから作ったアイスなら、栄養も良く色もきれいなので注目が集まりそうという意見や、売り方を工夫するためにキャラクターを作るという意見など、中学生の視点で様々なアイディアを考えることができました。



「藤芋プロジェクト」とは…？

藤枝市のあらたな産物として、藤色のじゃが芋やさつま芋を栽培する取組です。



- ・藤芋アイスがいいよ！
- ・販売する時のイラスト案を考えてみたよ！



子どもたちの感想

- ・買い物に来た人が手に取ってくれるようなパッケージデザインがまず大事だなと思った。
- ・アイディアを考えるのは難しいけれど楽しかった。こんな仕事もいいな。
- ・良いものを作っても知られない意味がないので、発信力が大切だと思った。
- ・私たちが普段食べているものも、このように考えられているのだと思った。
- ・活性化のために、藤枝にはまだ工夫できることがたくさんあるし、良さを広められると感じた。

藤枝市役所農業振興課と生産者の方へ藤中生のアイディアを伝えました。